

ID番号

平成 年 月 日

## 放射線内部被ばく健康影響調査（平成24年度継続調査）結果通知書 （一部修正案）

岩 手 県

1 氏名等 \_\_\_\_\_ 様（生年月日：平成 年 月 日、性別： ）

2 測定結果（尿1リットル中に、どれだけ放射性物質が含まれているか測定した結果）

核 種	前回測定結果 (Bq/l)	今回測定結果 (Bq/l)
I-131 (ヨウ素131)	(検出限界0.00) <b>不検出</b>	<b>0.00</b>
Cs-134 (セシウム134)	<b>0.00</b>	<b>0.00</b>
Cs-137 (セシウム137)	<b>0.00</b>	<b>0.00</b>
K-40 (カリウム40)	<b>00.0</b>	<b>00.0</b>

注1) K-40 (カリウム40) は、天然に存在する自然放射性物質です (全カリウムの0.0125%存在)。  
注2) 放射線医学総合研究所では、尿1リットル当たりのK-40排出量について日本人 (全年齢平均) で約40ベクレルと試算しています。

3 1日の排泄量（どれだけ放射性物質量を1日に排泄しているか算出した結果）

核 種	前回結果 (Bq/日)	今回結果 (Bq/日)
I-131 (ヨウ素131)	<b>不検出のため算出不能</b>	<b>0.00</b>
Cs-134 (セシウム134)	<b>0.00</b>	<b>0.00</b>
Cs-137 (セシウム137)	<b>0.00</b>	<b>0.00</b>
K-40 (カリウム40)	<b>00.0</b>	<b>00.0</b>

注1) 1日の尿量及び排泄した放射性物質量は、問診票の採尿記録から算出します。  
注2) 採尿記録が一部欠落等している場合は、採取できた採尿時間と尿量から時間当たり平均尿量を計算し、1日当たり尿量を推計しています。

4 放射性セシウムに係る預託実効線量（生涯累積の内部被ばく線量を算出した結果）

核 種	前回結果 (mSv)	今回結果 (mSv)	通算 (mSv)
Cs-134とCs-137の計			

注1) 預託実効線量 (mSv) とは、体内からの内部被ばく線量について、成人で50年間、子どもで70歳までの生涯の累積線量を示すものです。  
注2) 預託実効線量の推計は、独立行政法人放射線医学総合研究所が開発したアプリケーションソフト「MONDAL3」に、年齢、測定結果、1日尿量等を入力して推計・評価します。  
注3) 推計・評価する際は、平成23年3月12日から前回調査時の尿採取終了日の前日まで、又は前回調査時の尿採取終了日から今回調査時の尿採取終了日の前日まで、飲食物から一定の放射性セシウム量を摂取したという「慢性経口摂取モデル」を採用しています。

## 5 有識者会議からのアドバイス

(今回の有識者会議の全体評価等を踏まえ、概ね次のような項目立ての通知案を改めて作成し、会議終了後に電子メール等により相談させていただく。)

- (1) あなたの放射性セシウムによる内部被ばくについては、・・・
- (2) 放射性ヨウ素については物理学的半減期が約8日間と短く、今回の調査のみでは必ずしも摂取状況等が明らかではありませんが、・・・
- (3) 以上を総合すると、・・・と考えます。

### 【参考】 前回の通知内容

#### 3 全体評価

今回の調査対象者全員の調査結果については、「別紙（公表資料）」のとおり、「放射線による健康影響はきわめて小さいと考えられる。」と評価されています。

#### 4 生活上の留意点等

##### (1) 内部被ばくに関して

今回の調査結果を踏まえると、これまでと同様の食生活を継続しても健康に影響が及ぶとは考えにくい状況です。流通段階で検査が行われている（一般的に市販されている）食品については特段の心配は必要ないと考えられますが、空間線量の高い地域の野生のきのこや山菜を食べる場合は、念のため汚染レベルを把握する必要があると思われます。また、地面からの土ぼこりや砂の舞い上りを大量に吸入しないようにして下さい。

##### (2) 外部被ばくに関して

現在、年間1 mSv以下という目標で除染等の放射線量低減作業が進められていますが、一部、線量の高い場所（いわゆるマイクロホットスポット）が存在している場合は、そこに長く留まらないなど、できるだけ外部被ばくを避けることが望ましいと考えられます。

##### (3) 健康影響に関して

今回明らかとなった放射線の内部被ばくによる発がんリスクは、喫煙はもちろん、高塩分食、野菜不足等によるリスクに比べ極めて低いと考えられます。発がんリスクの低減には、低いリスクをゼロに近づけるよりも、食事を含む生活習慣の改善に努めることが効果的と考えられます。